

# 東日本ブロック合同同窓会 特別講演 概要 『掘削船「ちきゅう」の挑戦\_未踏の地球深部へ』

講師：小林照明（資源 S51 年卒）  
（国研）海洋研究開発機構（JAMSTEC）



JAMSTECが所有する地球深部探査船「ちきゅう」は 2005 年に建造を終え現在、運用11 年を迎えております。その仕様は全長210m、幅38m、檣の海面からの高さ112m、総トン数 5万7千トン、5万馬力もある船上研究所を備えた世界最大の科学掘削船です。「ちきゅう」は水深 2,500mからその下の海底下 7,000mまで掘削する能力があり10kmのドリルパイプ長の重量は 500トンにもなります。

これらの能力を携え「ちきゅう」は IODPという日本が世界をリードする深海科学掘削プロジェクトの中心として活躍しています。そこでは、世界30か国の科学者が、巨大地震発生メカニズムの解明、生命の起源について世界第一級の科学的成果を生み出しております。また日本周辺に眠る海底資源の把握にも努めており、沖縄熱水噴出域でのレアアース調査、南海トラフでのメタンハイドレート調査にも携わっております。「ちきゅう」の最大のターゲットは人類未踏のマントルへの到達です。詳細は JAMSTECウェブサイト「JAMSTEC地球深部探査船「ちきゅう」」をご覧ください。<http://www.jamstec.go.jp/chikyu/j/>

講演では、「ちきゅう」の紹介、上記プロジェクトの概要と挑戦について話をする予定です。